



♪ 新たな歴史の1ページ 音楽会開催 ♪

先日、大町南部小学校として初めてとなる「校内音楽会」を開催しました。当日は、多くの保護者や地域の皆様にご来場いただき、子どもたちの歌声や演奏が体育館いっぱいに響き渡りました。

この日のために、子どもたちはそれぞれが目標をもち、日々の練習に真剣に取り組んでいました。音程やリズムを合わせるだけでなく、友達の音をよく聴き、気持ちを一つにして表現することの大切さも学ぶことができました。本番では緊張した様子も見られましたが、演奏が始まると練習の成果を存分に発揮し、一人一人が自信をもってステージに立つ姿がとても印象的でした。学年や学級の仲間と心を合わせ、一つの作品を創り上げる経験は、仲間との絆を深めるとともに、大きな達成感や自己肯定感につながったことと思います。この経験は、これからの学校生活のさまざまな場面でも生かされていくことでしょう。

皆様からの温かい拍手は、子どもたちにとって何よりの励みとなりました。ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。これからも、新しい学校の歴史を子どもたちとともに築きながら、一つ一つの教育活動を大切に進めてまいります。





1年生は「コーディネーショントレーニング」に取り組みました。このトレーニングは、筋力を増やすことよりも、脳から体への指令を正確に伝える神経回路の構築を目的としたトレーニングです。くの字運動やSの字運動、ラディアンなどで、楽しみながら脳や体に刺激を与えました。



2年生は「姿勢教室」で、講師の先生から「姿勢が整うと、心も体も健康になる」ということを、体験を交えながら教えていただきました。「正しい姿勢は血の巡りを良くし、体中に酸素を届けるため、健康になるだけでなく、勉強や運動のパフォーマンス向上にもつながる」そうです。



3年生は社会科で「鷹狩山」に登り、展望台から大町市の土地の高低や川の流れ、土地利用や交通、公共施設の様子をいろいろと見つけ、見学シートに絵地図を描いたりメモしたりすることができました。学習で学んだことを総合的な学習の時間「大町のいいところ」に繋げていく予定です。



4年生は南極の昭和基地とLIVEでつながり、現在活動しておられる南極地域観測隊越冬隊の方が、基地の中の様子や隊員の方々の生活の様子を分かりやすく教えてくださいました。南極に間近に感じ、南極のことや、そこで活動する方々のことを学ぶことができました。



5年生は、「読書旬間」のイベントで、姉妹ペアの2年生に読み聞かせをしました。事前に図書館で、ペアの2年生が喜んでくれそうな絵本を選び、読み方を工夫しながら練習を重ねて本番に臨みました。当日は、2年生の反応を見ながら、優しく語りかけるように読み聞かせを行いました。



6年生にとって南部小最初の音楽会は、小学校生活最後の音楽会でもありました。魂のこもった演奏はもちろん、会場の準備や装飾、スローガンの設定、当日の進行等は、プロジェクト活動の中で取り組み、6年生が南部小学校のリーダーになって音楽会を創り上げることができました。

7月3日は低学年、8日は高学年の「参観日」です。また、7月24日からの保護者懇談会でもお世話になります。